第六百三十九號 (一)　(木曜日)　明治四十四年三月二日　月曜及祭日の翌日休刊　(日刊)　明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所 京城新報社

●仁川の清酒釀造界

仁川港に於ける釀造界は日進月歩の趨勢にあるは喜ぶべき現狀にあり先づ釀造開始當時と昨今とを比較せば左の如し▲桃山町宅合名會社仁川支店は去る明治三十九年の創設にして當時は千八百石を釀造し越へて明治四十三年度は二千五百石今四十四年度は二千五百石の釀造をなす酒の名目は宅正宗、輪陽一、光武等とし一樽四斗五升入十四圓より十六圓なり▲次は吉金喜三郎氏にて去る三十九年創業當時四百石を釀造し昨四十三年には六百八十石今四十四年度は八百石釀造酒の名目は雛老正宗、小生鶴とし時價一樽金十五圓五十錢より十六圓五十錢なり▲宮町の高野周三郎氏は去る三十四年の創業にて當時二百石を釀造し昨四十三年に六百石を釀造す酒の名目は日高、鶴輿、松正宗、玉壽等の四種に分別し時價金十一圓より十四圓なり▲宮町の深見勝三郎氏は去る明治二十六年岡崎某の創立經營せし工場跡を讓受け着手せしは明治三十年にして當時二百石を釀造し昨明治四十三年には五百五十石今四十四年度は六百石の釀造なり酒の名目は光鳳、盛の花等にては時價金十四圓より十五圓なり▲萬石町の吉岡福太氏は去る明治三十八年の創業にて當時二百石を釀造し昨明治四十三年には四百五十石今四十四年度は五百石釀造なり酒の名目は勸章正宗、壽榮、浪の花等にて時價金十三圓より十六圓なり▲花町の大森實太郎氏は去る明治三十八年の創業にて當時百石を釀造し昨四十三年度よりは二百石宛を釀造す酒の名目は雪の松、盛の花等にて時價金十一圓より金十三圓なり外に龍岡町の齋藤喜市氏及び同町の林田氏は共に二百石等にて現在の總釀造高五千六百石なり

以上釀造家の用ゆる原料米は京釜道の通津米を第一となす然れども同地生產の米額少量なれば到底酒造に用ひ難く黃海道、忠清道の產米を用ふと云ふ以上の諸清酒釀造家の成績に依て逐年進步しつゝあるは僅に朝鮮に於ける釀造業の有望なるを表明せり次ぎは醬油、味噌の釀造業者

●英皇に御土産

今回英國皇帝戴冠式御執行に就き聖上御代理として東伏見宮殿下御參列の爲め御渡歐相成る御儀は既報の如くなるが我皇室にては英國皇室に對し御土産として日本古美術品を御贈呈遊ばさるゝ御思召にて目下宮中御秘藏の書畫彫刻品より種々御選定中なりと洩れ承る

●英國に於ける豆油

在敦倫田原商務官より其の筋に達したる報告によれば英國に於ける豆油事業は近時漸く世の注意を惹き殊に亞麻仁油代用ペイント材料としての價値認識せらるゝに至り現にフレデリックボーム會社製品の如きは十二時乃至十五時間の後全く乾燥し防水作用亦頗る完全なるものなれば近時豆油材料としての豆粕輸入漸く多きを加へん傾向あり而も價格がハンドレッドウエート亞麻仁油四十五志五十志見當なるに豆油は三[illegible]代用品との價値は之が發展に重要なるものとなり前途頗る注目に値すべし云々

●全道鑛區坪數

農商工部鑛務課に於て十二月三十一日調査に係る朝鮮に於ける現存鑛區及び其坪數は全部にて區數七百三十九坪數二億四千六百三十五萬五千五百七十二坪及び砂金延長二千五百十町の多きに達したるが就中金鑛最も多く區數百八十九坪數一億○百十六万六千二百四十二坪にして實に其半數に達す黑鉛は之れに次ぎ三千六百七十一萬七千三百八十一坪にして其鑛區は百四十二砂金は區數百七十六坪數千三百○九萬四千三百九十八坪外に延長二千五百十町十五間に及び鐵金銀石炭等之に次げりといふ而して右鑛區の內その最も豐富なるは平安道となすなり

雜錄

●閑窓放言(一)

在京城 西國山人投

○山人此頃閑窓に安臥し、食前茶後、出鱈目を筆端に洩らしたるものを題し閑窓放言と云ふのである○社會の進運に伴ふて分業の必要を認むるは當然の結果である、されば酒屋は酒屋、餠屋は餠屋、料理屋は料理屋、學校は學校、監獄は監獄で區別して各其の業務に專心全力を傾注してそこで發達進步するのである、餘まりに多方面に渉りての萬屋主義は一事の成功を收むる能はざるのみならず動じて失敗に終るのである○苟も神ならぬ人間なれば百般の事各種の業に精通する事は固より難いのである、角あるものは牙なし牙あるものは角なしで、一長一短は免れざる數である○人には能不能あり、甲の能くする所乙の能くせざるものあり、丙の得意とする丁の不得意とする所のものあり○例へば漁夫をして山に入れて木挽の職を爲さしめ、亦た木挽をして海に放ちて漁夫の仕事を爲さしめなば相互に其不得意の仕事たるや明かにして其好果を收る能はざるのみならず却つて失敗に歸するや疑ひなしである、其適從する方面の能不能の活用を誤りたるものと云ふべしである○適任を選所に配置して十分に其手腕を發揮せしむるは人物經濟[illegible]材を適所に活用するは識者の大に一考を煩すべき所である○千里の名馬も伯樂に遇はずんば駑馬と同じ龍も雲を得ずんば沖天に活躍するを得ぬのである

外事一束

▲佛國● 內閣は宗教團體に關する政策遂行上議會の形勢面白からず俄然容易ならざる境遇に陷り辭職を協議中也。

▲米紙● は日米新條約に贊成の意を表しサン紙の如きは日本の紳士的態度を賞發し速かに可決すべき所以を論ず。

▲通過● 以上日米條約は二十四日午後遂に上院を通過せり而して政府は條約の內容を公表し滿足を以て迎へらる。

▲否認● 米國州際商業委員會は鐵道の賃金引上を否認し各種の數字は鐵道の繁榮を示し其經營困難に非ずと稱す。

▲英佛● の間に紛爭中の犯人引渡事件は海牙裁判所に付せられし結果英國は佛國に之を引渡す義務なしと判決す。

▲禁止● 露國沿海州貿易許可の權限は黑龍總督に屬せしも議會は之を奪ひ更に其沿岸に外國船舶の寄港を禁止す。

▲墨國● が叛徒に屬せる米國人の軍事探偵を銃殺せる件は米國之を不法と認め國務卿は大使に命じ抗議を申込む。

▲日本● 公債は倫敦株式市場に於ける諸將來國公債の稍々氣弱なるに反し獨步

▲露國● の對清要求中ハミ及グッチエ兩領事館開設の件は遂に抛棄の旨牢貪に之を淸國政府に回答せり之を清國の回答と云ふべく强硬なる氣配を以し迎られ居れり。

▲佛國● 上院は淸國に於ける相互の版權商標保護を約する日佛條約を是認し之を通過せり巴里特電は報し來れり。

召使れ初(二)の一

鼎法師



赤羽根万月の槙上に、正木佐十郎を正客とする不思議の酒宴は開かれぬ、左右には三十前後と見ゆる二人の武士何れも辛美色となりし黑羽二重五紋の小袖、同じやうの羽織、袴は着けざりき。

「いや、何とも恐縮、斯樣な御造作に預からうとは存ぜず、先刻よりの不禮幾重にも御詫申す」と一人の男は云ふ

「拙者は水野三五郎、以前は備前岡山殿に仕へて、相應の御知行も頂戴した身ぢや、向後御懇意に相願ひ申す」と三十前後の男は云ひ切つて「時に正木殿何斗かへ御仕官でござるか。」

「いや」と、佐十郎は重い聲「拙者五斗米に腰を折らうとは存じ申さぬ」

「まことに勇士御本懐、このれ覺悟なくてはならぬ」と三五郎は前にある盃を取り上げて「一献まいる、拙者も武士の骨を持つてござる」

「不思議な御縁で、斯樣に三人打集るも天の爲さる配劑と心得る」と、佐十郎は一座を見廻はし。

「人間は只食ふて只生きるばかりでは能がない、れ互に浪々の身、誰に氣を兼ねる處もない一本立ちや、後々名の殘る如の大仕事致さうではござるまいか」

「こりや好い處へれ氣が附いた」と他の一人、膝を拍つて「拙者申し後れてまだ姓名を申し上げぬが、原は石州濱田の城主松平周防守に仕へて近侍頭まで勤めた者、佐倉傳內は我等でござる」

「はゝ」佐十郎は深く何をか考ふる樣「佐倉姓は石州のれ生れか」

「些細の事から浪人は致いてござるも系圖正しい生れでござる」

「拙者は又和州の產、親共は本多家老職を勤めてござるが、主家沒落の後は二君に仕へぬ心の操、この始末で世は移るもいざ、天下一大事とある時は、身命を抛つて、義の爲めに盡す覺悟、何うぢや、れ互に何か變つたこと致さうでござらぬか」

「太平の世はこの腕を試す樣もなうて日ごと脾肉の嘆に寢れる、正木殿、思召立ちの事もあらば、拙者大島の勢を盡すでござるぞ」と三五郎はきつといふ。

「然し、衣食足つて禮節ありぢや」と傳內は得意顏に「れ互に食ふに困るやうでも爲らぬの」

「一盃の酒も心安く飲むことの爲らぬ身で天下の大事は遂げられぬ」と佐十郎は笑ひながら「佐倉姓は石州のれ產れと聞いた、御家中に御緣邊はござらぬか」

「一家悉く離散、これと存じ寄りの者もないが、奥向には拙者伯母が時めき居ります」

「はゝ、奥勤めのれ年寄衆にの」

「年寄の筆頭澤野は拙者の伯母でござる」

「石州殿れ名の出るたび、れ年寄役澤野殿れ名を聞かぬことはない、御女儀ではれはしても男優りの御氣性、れ表役人衆も澤野殿前に頭を下げぬ者はないといふ、眞實でござるかの」

「さほどにもござるまいが、奥方た實家鍋井隱岐守樣から付けられた者でもあり、女ながら負けじ魂、只今では立派な身分ぢや、然し拙者は浪々出入は協はず、幼少の時逢ふたばかり只今では音信不通でござるぢやよ」

「音信は不通でも、血の關係は絕ねぬでござらう」と佐十郎は一膝進めて「時宜によらば澤野殿へれ手引を下さるか。」



廣告

事後承諾案

（東京電報）（廿八日）緊急勅令事後承諾案に對し政友會一部の主張は [illegible]

新條約內容

[illegible]

大師號の追諡

淨土宗顯光大師 [illegible] 大師號の追諡 [illegible]

移民法改正公布

外務省告示 [illegible] 移民保護法第二條の二により命令を以て定むべき [illegible] 比律賓群島 [illegible]

佛國陸相の訃

佛國陸相ブルン [illegible]

遣英艦の所屬

遣英艦鞍馬利根の二艦は今一日第二艦隊に編入さる [illegible]

教科書改正に決す

教科用圖書調查委員會は昨廿八日總會を開き [illegible] 國定教科書改正の件を [illegible]

新豫算と總督

倂合後 [illegible] 四十四年度豫算 [illegible]

砂金產額の激增

[illegible]

法學校の前途

校長野澤武之助氏談 [illegible]

法學校の豫科廢止

法學校の豫科三年なるが新學年より豫科を廢止し今後は高等學校を卒業せしむべく隨つて新一學年に進め別に [illegible] せざるべしと

市區改正と民長

過日民會の決議せる市區改正に關する建議に對しては未だ正式に予の許に送達し來らず予の運びに到らざるが [illegible] 皆川 [illegible] 總督府 [illegible] 建議なれば總督府に於て [illegible] 之に對する予の [illegible] 大村氏の質問に對し [illegible] 熱望する本町街路擴張の [illegible] 新豫算編制の現狀は [illegible] 出し居れるが [illegible] 計劃は到底突飛の譏を [illegible] 古城民長は語れり

●中學設立の請願 [illegible]

●營林廠の純益 [illegible]

收用令發布期

既報土地收用令は制令を以て規定さるべく而して該案は既に總督府の決定を了し法制局へ回付し在る由にて頗る急施を要する事情あれば其發布を見るは蓋し遠からざらんと云へり

建設所の增設

朝鮮鐵道局にては京元、湖南線の敷設工事進捗に伴ひ建設事務所增設の必要を認め從來鴨綠江、龍山、太田の三事務所の外更に元山、木浦の二ヶ所に建設事務所を增設する事に決定し元山所長には龍山保線事務所長技師稻垣甚氏、木浦所長は平壤保線課事務所長技師伊東三郎氏其他所員四十餘名の任命發表されたり因に木浦事務所は湖南線四街里木浦間を元山事務所は京元線洗浦元山間の工事を擔任すべしと

兩保線所廢止

朝鮮鐵道局の龍山、平壤の兩保線事務所は今回都合に依り廢止されたり

新學期と教科書

朝鮮人の各學校に使用せしむべき教科書は併合前編纂せしものあり當時最も適良のものと認められしが併合の爲め其根底に動搖を來したるより總督府にては應急方法として併合後の狀態に甚しく抵觸せる點のみ訂正を加へ便宜之を使用する事となれりと

民會の委員會

京城民會委員會も略々結了せしにつき議案第一號より追加案第一號までの各委員は一日午後六時民團樓上に參集し打合會を開く筈なるが是れにて全部結了すべく尚ほ四日午後一時より本會議を開く筈なり

鎭海灣軍港近況

飛鳳里に於ける水雷團廳舍及び兵舍基礎工事は目下着手中なるが是等工事を目的として縣洞及び飛鳳里に入込める日人約八百名の多きに達せるが其內僅かに百名餘の就業者あり爾餘の者は悉く無職座食の姿にして最も困難の狀態にありと斯く徒食者が多數入込みしは內地の諸新聞、鎭海軍港の事を無暗に大きく書立て一時に大軍港の大工事勃興し金儲けの容易なる如く吹聽せしに起因したるものなりと云ふ

北鮮砂參の有望

咸鏡北道慶興郡雄基港地方に於ける貨物運搬に從事する支那人の多くは近時同地方海岸砂地に繁茂する砂參と稱する草根を採取し遠く芝罘、天津、上海の各方面へ輸出し居れるが該草根は一種の藥草にして其の生茂區域は頗る廣大にして現に昨年中之れを採取し元山港を經由し上海へ輸出したる其の數量は三千百斤の多きに達したりと而して上海に於ける昨今の相場は百斤に付四十六圓五十錢にして將來之れが採取事業は最も有望なりと云ふ

相場電報

（京城本町西村支店着電）

大阪株式（三月限）

▲大坂 同 [illegible] 六七、七〇〇 六七、六〇〇 [illegible]

▲同 直 取引 [illegible] 一三三、〇〇 一三三、八〇〇

●廿八日休會

●一日前場三月限寄付十一圓四十五錢▲止

市街植樹の計畫

漢城衞生會にては豫て市內の大道路に樹木を栽植して市街外觀体裁を飾り且つは市民衞生の爲めに此れが計劃中なりしが今般愈々決定せしを以て東大門通り鐘路通り南大門通り西大門通りの各大通りに着手する筈なるも目下道路結凍せるにより其の解凍を俟つて植付け、取懸かる事とし今ノ所にては唯樹木排植の位置に就きて各道路を實地に調査中也

仁川居留民會

既報の如く廿八日午後三時半より仁川第二回民會開催出席議員十三名にて先づ稻田議長は開會の定例時期勵行に付議員に諮り八田藤村の二氏は嚴として定則より一分間も猶豫せざる事を主張し淺井、川添、樋口氏等は變々三十分間を猶豫すべしと主張し結局議決するに至らずして議案審議に移り明治四十三年度追加豫算の件は滿場異議なく可決夫より秘密會に移り四十四年度豫算編成案及商業學校を擴張し現在夜間のみなるを晝間授業をなすの考案を立て午後六時散會す

●久水仁川府尹視察 一昨廿八日仁川久水府尹は穗積島住民の窮境狀態を視察したり

露總領事の榮轉

京城駐在露國總領事ソモフ氏は道岡トルキスタンブクハラの某高等官に榮轉したるより後任者の任命來京を俟つて來四月初旬赴任するよし

米國副領事交替

在當地米國總領事館副領事グールド氏は加奈陀バンクバアーに榮轉し後任者としてエドウイン、チグエル氏任命されたる由なり

●學務局長歸任期 去月十七日東上せる關屋學務局長は來る十日頃歸任すと

●最上主計正出發 軍司令部附最上主計正は今回第三師團に轉任し一日午前九時龍山驛發赴任の途に就きたるが停車場には多數の見送人ありたり

●露領事の歸任 先月來長崎地方に出張中なりし當地駐劄露國領事アレキサンドル、ソモーヴ氏は昨二十八日夜南大門驛着列車にて歸任せり

●楢崎桂園子の出發 大坂毎日新聞京城特派員として敏腕の聞え高かりし楢崎桂園子は本社より北京詰を命ぜられ一日午前九時發滊車にて出發したるが見送人は趙重應子亥角保安課長始め官民紳士及び新聞記者等百餘名なりし

●露領事館書記入京 長崎露國領事館附書記ダスケウイツチ氏は昨夜八時二十三分南大門驛着入京せしが鮮人二名の出迎を受け同總領事館に投宿せり

●米宣教師の傳道 南大門外の米國宣教師アンダアト氏は病氣の爲め引籠中のところ快方に向ひたるを以て明朝出發七日間の豫定にて平壤、成川、定州、新義州各地方に傳道を試むべしと

朝鮮鐵道成績

朝鮮鐵道局の運輸成績に付き村瀨副參事の談を聞く、鐵道收入は經濟界の發展に伴ひ逐年增加しつゝあるが合併後は特に成績良好にして十月より十二月に至る二三ヶ月間に於て貨客を通じて前年同期に比し約二十万圓の增收を示せり今四十三年上半期（四月より九月に至る六ヶ月間）及十月より十二月に至る客車及貨車收入と前年同期の比較對照を示せば左の如し

（四十三年上半期間）

客車收入（前年、百七万四千二百圓 本年、百十二萬九千九百圓）

貨車收入（前年、七十六萬八千八百圓 本年、九十五萬五百圓）

（自十月至十二月三ヶ月間）

客車收入（前年、五十四萬七千圓 本年、六十四萬一千圓）

貨車收入（前年、四十九萬六千圓 本年、七十一万三千圓）

金分析所新設

總督府度支部にては最近調査の結果韓國銀行若しくは農工銀行をして義州に地金分析所を新設せしむべしと云ふ

今後の防疫方針 二

十七日總監府に於て政務總監以下列席して防疫會議を開きたること既報の如くなるが同會議に於て協定したる總督府の防疫方針は去月二十八日訓令を以て明石警務總長より各道に通牒する處ありたり其內容を示せば左の如し

▲對淸國勞働者方針 淸國勞働者の入國に關しては以前より之れを拒絕し居たるが今回も同國より來鮮せんとする不健康者と勞働者は依然入國を拒絕することゝしたるも是等勞働者に對しては之れを使役せる官廳に於て入國を必要と認められ且つ防疫官憲の承認を受け一定の隔離を爲し全く病毒汚染の疑なきものに限れり

▲病毒地を通過せるもの 前項に述べたる淸國人及び不健康者以外の者にして病毒地を通過し且つ鴨綠江乃至豆滿江を橫ぎりて朝鮮に入らむとするもの及び其出發地等不明なるものは一週間以內の隔離を行ふことゝし若し全く病毒地と何等關係なき證明を存するもの及び其明かなりたる時は直ちに入國せしむ

▲船舶戎克の檢疫 旅順大連及び膠州灣を拔錨して當朝鮮に向ひたる船舶の乘客にして當該官憲の健康證明を得たるもの及びその乘込員に對しては更に檢疫の上直ちに上陸せしむることとせしも小形帆船及び戎克等は著港後十日內外の停船を實施し一方北淸地方より來れるものは從來の例に依ることとし十日間以內停船せしめ又は隔離を行ふ筈なり（つゞく）

北鮮防疫の經過

北鮮防疫に就て二十七日太田憲兵大尉より其筋に左の電報ありたり

會寧分隊にては管內沿岸十ヶ所に監視哨を置き嚴重に警戒しつゝあり二十日迄の取扱件數五十三件檢菌鼠數四百七十回異狀なし本日鍾城岸監視は行はれ居れり但し監視員不足の箇所あるを認めたるに依り鍾城隊に通牒し於けり目下訓戒管內の鼠は會寧に送り檢菌しつゝあるも穩城に依り途中腐敗す行々は訓戒附近にて檢菌するの必要ありと思はる鬪們江の結氷弛み乘馬の氷上通過は危險となれり

滿鐵の淸人輸送

廿七日奉天防疫本部より其筋に左の電報あり

三月一日より長春奉天營口に於て是迄乘車制限したる淸國人の滊車乘客に對し乘車前七日間隔離し異狀なきものに對しては淸國人（朝鮮人を含む）以外の旅客と客車とを別にし安奉線以外の輸送を開始する事とせり

郵便物消毒方針

通信局に於ては關東都督府との連絡を取り郵便物にして病毒汚染の疑なきものは從て消毒を行はざる事とせり

●敍任及辭令（二月二十七日付）

朝鮮總督府取調局長官 石塚英藏

朝鮮總督府地方局長 小原新三

滯京ヲ命ス

忠淸南道全羅北道全羅南道及慶尙南道ニ出張ヲ命ス

任朝鮮鐵道局工務課長 技師 岡村初之助

亞細亞協會例會

同會例會は來る五日米國總領事館に開會せられ小松外務局長の鮮人民と新政府なる論文の朗讀ある由なり

●碧蹄館保存寄附募集 碧蹄館保存會の創立以其當時の紙上に報道せしところなるが爾々準備も整頓せしを以て今回事務所を高陽郡廳に置き保存費の寄附を募集すべき事となり近日其代表者高陽郡守旅恒錫、同郡書記官坂豊郎の二氏より總督府に願出で募集の認可を得る筈なり

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 二十八日の分

乘車客 六〇〇 下車客 八〇六

乘車賃金 一四四四、七五

▲南大門驛荷扱高 二十八日の分

發送 八五噸 到着 二三一噸

貨物賃金 九七九、六九

▲龍山驛の乘降客 二十八日の分

乘車客 二一二 下車客 一九七

乘車賃金 二二一、六七

▲龍山驛の荷扱高 二十八日の分

發送 一七噸 到着 一〇五噸

貨物賃金 三三一、〇三

公人私人

▲尾崎俊甫（南陽地方金融組合理事） 廿八日南陽へ

▲小鹿島饒（農工銀行開城支店） 同上開城へ

▲佐久間賀太郎（土木技師） 同上

▲內藤正剛（辯護士） 廿八日入京

▲前田善雄（東亞會社仁川支店長） 同上山本

▲杉原恕太郎 元山同上 同上

▲京城手形交換高▼

三月一日 枚數 五九六 高 一七七、八六五、九〇

▲仁川港の出入船舶▼

▲木浦丸 二日大坂より入港

▲治外法權▼

我皇室から窮民施藥資料として一百五十万圓を御下賜相成つたのは寒夜御衣を脫せられたのと同樣であつて吾人臣民の感謝せねばならぬ事だ、聖意海よりも深し、世の富豪が一齊に覺醒するに至つたのは實に結構の事だ▲併し茲に考へねばならぬ事は富豪の覺醒は覺醒で良いが、之を以て所謂社會主義者の勝利などとは見做すべからざる事だ、何となれば現在の日本は社會主義者などの主張を通すべき理由がウノ毛程も無いからであるのだ▲有体に云へば歐米に於ける社會主義者の主張は一面尤もと思はるゝ節もあるのだ、何となれば一國の富の積蓄が非常の物であるに拘はらず、其分配が甚だ不平均であるからであるのだ▲歐米の富の積蓄其由來を尋ぬれば十八九世紀に亘つて唯物論が歐米人を支配した結果である而かも唯物論に支配せられた歐米人が富の增殖積蓄を以て國家民族第一の目的として働いた結果である▲我日本に唯物論が這入つて來て人心を支配し始めたのは御維新後であるのだ、御維新から今日までの短日月、此間に於て我國民は唯物論の實行に勉めた、併し其富の增殖積蓄の程度は二百年間唯物論に支配されて働いた歐米人には到底及ぶべくもあらずだ▲唯物論に一寸感染してサア之からと働き始めた所へ不幸にも所謂社會主義なるものが這入つて來たのが我邦の現狀であるのだ、故に曰く我邦の現狀は唯物論が未だ效果を收めざる中に社會主義から襲はれたものだ▲古語に曰く無い袖は振れずと、今の我日本は毎年輸入超過の而かも十數億の借金を有する債務國であるのだ此債務國に於て唯物論の效果を十分に收めた歐米に於けるが如く社會主義を行ふとするのは無い袖を振れと云ふ野暮な話であるのだ▲要之するに今の我國の急務は誰が何と云ふと唯物論の實行であるのだ、唯物論の實行、牢島開發の如きは其一部であるのだ、如何に軍が强くとも財政經濟に獨立を有せざる我日本が封建時代から一足飛びに社會主義にカブれるなどとは馬鹿な話であるのだ。



朝の南大門驛

夜來の風雨降り止んで一天陰寞、往來の人依然として頗る寒い。停車場に[illegible]を轉じて街上の光景を[illegible]であると、驛前繁業の人車は[illegible]賣り來りしや、場內[illegible]、之れ何の[illegible]

知恩院御忌

閃々たる緋色の小旗は[illegible]の文字を染め出し、知る之ぞ三月一日より七日間京城知恩院に於て淨土宗[illegible]の七百回忌を執行するを以て善男善女が逼く參拜する一團体の乘客であつた。

學生の一團は即ち[illegible]普通學校日戶秀之助先生の東上に別離の敬意を捧ぐべく來りしものである。待合室には黃海道安岳郡麻生普波と記したトランクが見ゆる。

大阪毎日新聞特派員楢崎桂園氏は同紙北京留學生として任に赴かん爲め東上せんとして來り同業者の見送を受けた。

花月樓の美人

三二、恰々として場內に陸現せしは、樓の[illegible]何の御用で御座いましたか、[illegible]

横町の奧で荒波フサ

「あの横町の奧で荒波フサ、と標札がかゝつて居りますから、遊びに居らしやい」とは[illegible]首背男は無言に之れを受けて、會話は終りを告げて左右に別れた。今午前九時十分、釜山行列車は佛法擁護の善男善女を拉して靜かに進み去つた。山紫水明の京都へ、淸き法の道に住する人々のみ、梅や櫻の薰りイヤ深からん、一路の平安を祈る。

虫の好い技手殿

甞て仁川稅所の某部の技手○地と云ふは目下或る事に關して其の筋に拘引せられ[illegible]分の妻の兄の名義にて天安及び新事地[illegible]したるが此の金の出所に付聞く所に依れば此○地の家に犬子と云ふがあり昔し○地の恩を受けしより常に○地を師父の如く敬ふのみか役所の方の勤め向も至つて精勵し行末安樂に僚を送らんと得る限り儉約して俸給の大半を役所に積立てしより盛も積り昨年の秋頃には己に[illegible]に金圓の必用を生じ[illegible]さんとせしに豈計らんや[illegible]戻となり居たるより[illegible]に野心を起し無斷に[illegible]知らぬ顏で空嘯き居[illegible]が奸智に長けたる○地なりしより犬子は[illegible]旨○地に訴へけるに[illegible]り登大○地の仕事と[illegible]逆自分の恩人なれば[illegible]言に犬子は事の意外[illegible]の金は乃公が引出し[illegible]請求するとは此の恩知らず[illegible]而巳ならず近頃は犬[illegible]請求するとも蛙の面[illegible]百圓丈け請取しも殘[illegible]と齒を噛み其餘數十[illegible]て投書ありしを其儘

爆發彈を食べた妾

京畿道楊州郡[illegible]面大也洞美壽榮(二九)といふもの二十個を持參の爆發彈を[illegible]不只里三統九戶姜燦榮[illegible]づゝに買取り呉れぬ[illegible]同郡[illegible]面陽方里三統十戶[illegible]十五個を買ひ込みたる[illegible]も來合せ居り面白き[illegible]も買ひ呉れよと同じく買入れたるが其後一個は危險の虞れあれば[illegible]に入れ寢室の天井に吊り居せる[illegible]實兄趙任文去廿一日午後三時頃家の天井の布袋發見し事[illegible]れば开を取下ろし內を[illegible]の如きもの一個出たれ[illegible]なき猥褻者の柳氏は必合點し素早く其一個を口に入れたるに何かは以て噛まる[illegible]盧曾釋もなく口中にて[illegible]打倒れたるが上下の[illegible]裂け齒は折れ舌は千切[illegible]見られぬ慘狀を極めた[illegible]臨宅し道は一大事と直[illegible]警察手當を施したれど其翌日午前九時死亡したるより右爆發彈は飴玉の形に製造せるもの、總さなるが柳氏の如き滑稽と言へば滑稽なれど知らぬ過失實に注意が肝要なり

滑稽「當て外れ」

龍山若松町賀屋營業モーリ某なる者は夫婦と共に蛇蝎の如く指彈せられ居る者なるが嘗て自家の食客たる一青年を便簇して銘金指輪十數個を同業者へ質入して百數十圓を詐取せしこと發覺し夫婦共龍山署に引致せられ結局該金員を吐出して證據不充分にて柿色の御仕着丈は免れたるも組合員が承知せずんでの事に除名せられんとしたるを漸く詫證文を入れ元々通り營業の出來る樣なりたるも其後毫も改悛の狀なく盛に同業者を蔑しをなし本月初旬には日頃兄弟同樣に懇意し居る山岸質店へ三好某を手先として僅に五十圓にも足らざるものを巧言を以て百圓に質入せしめたること分り山岸質店よりの强硬談判に遭ひ元利金を仕拂ひて品物を引取り事濟となりたるに性懲りもなく更に百圓餘りの喰せ物を三好某に托し腕の鈍き同業者に嵌込まんとせしに同人の該物品を持去りたる儘行衛を晦ましたる爲め夫婦とも血眼になりて搜索し居るも今に手掛りなく人にも談されず昨今頭痛鉢卷なりとは自業自得とは云へ天の配劑良き見せしめなりとて龍山質屋營業者間の噂さも其儘

公園の傷人強盜 看守人

（漢陽）旭町一丁目漢陽公園內看守人岸岡淺吉方に妻つる(三〇)が一人炊事場に在りて夕食の仕度準備中二人の鮮人强盜闖入し來りつるの頭部を石を以て毆打し爲めにつるは一時人事不省となり鮮人等はつるが死亡せしと思ひ溫突內につるを突き込み置時計一個衣類三點現金二圓を奪取逃走せしより目下南部署に於て嚴探中なるが被害者は贊化病院へ入院治療中なりとは物騷千萬

捕鼠懸賞抽籤

（仁川）既報の如く一日午後一時より仁川警察署樓上に於て官公吏及び新聞記者等立會の上抽籤を執行したるが其の結果一等三十圓は四七二九にて花村洞十三統四戶李景花當籤したるが二等十圓二十本、三等三圓九十本、四等一圓三十五本の當籤番號左の如し

●二等 二一二七、四五九九●三等 一九七二、二五九七、六二二、二二七三、二〇六●四等 一一五八、六七六、五五八、四七〇三、一五六五、三七二五、三〇四一、三五九〇、二六九五、一三九〇四五五四、二四〇三、三四四三、一二八九 三二六六、三五三八、八五一、七〇七、二六五一、一一六九、三二七九、二七三六、四六〇六、一六六九、二三五二、七八三、二七二一、三七六一、二四四、三三〇七一九八九、八七、三四七七

古新聞利用新法

秋田縣北秋田郡阿仁銀山疊職熊谷龍治は今回古新聞紙を疊の中に利用する方法を考へたるが其利用法は疊を造る時に表と床の間に古新聞紙を四枚若くは八枚を挿入する時は春先に蚤の生ぜざる事床中より塵埃の出でざる事裏返しの時新表と均しき等の利益ありとの事にて同地疊職組合は何れも此の方法に依り製疊しつゝありと

散髮師と帝國座

當地に於ける理髮業組合員は東京帝國座が俳優中村雁次郎が初舞臺出演の爲め東上するに就て同優が新橋停車場着の場合迎ひの馬車を差し向くる由を電報せしに同優より今日まで乘りし事なければ斷る旨返電せしに帝國座より折返し『イマハイ、ンパツヤデモノル』云々とありし事大坂朝日新聞に依つて傳へられしにぞ右文中デモとは吾々理髮師を侮辱したるものとて東京なる美髮會本部に移牒して大々的抗議を帝國座に向つて試むることに決したる由なり

三筋文學

福島柳眠

若しや主かと切戶を開りや
にくやとなりの浮れねこ
主の仕打ちと妾しの意氣地
もつれ／＼て痴話けんか
○
主を眞似てか猫までこひに
夜ごと浮れて出るにくさ
たまに逢う夜は恨と怨痴と
痴話にねもせずあけの鐘

高野浪の舍

日韓書房の盜難

愛知縣名古屋市澤井町當時住所不定辻源次郎(三〇)は明治四十年度に龍山郵便局通信事務員在職當時官印盜罪を犯し懲役一年六月に處せられし以來監獄住ひの趣味を覺へ其放免後は竊盜罪に因り懲役一年に處せられ昨年五月放免されしも一定の住所職業なく諸所を徘徊して其筋の注意人物なりしが去月九日より二十日に至る間數回に本町三丁目日韓書房に至り店員の隙に乘じ書籍數十冊（代價四十六圓）を竊取し之を賣却しては長谷川町二丁目飲食店奈良屋に於て費消し尚は詐欺並に横領罪の犯罪ある事を西大門分署刑事に探知され取調の末一日檢事局に送らる

臨濟寺法要

龍山太嶽の經營せる初音町二丁目本町九丁目北へ入）臨濟寺に於て來る三月三日毘沙門天緣日に付同日午後一時より法要並に說教又午後七時より說教を執行し參詣者へは接待を行ふ由

嗚呼此の青年を奈何

福井縣人丹後宗次(二二)は龍山本町一丁目尾形ス、方雇人なるが二十七日夜二階梯子段の下にありし三圓餘の金員を竊取せる爲め憲兵分隊の取調を受け檢事局に送らる此の將來を奈何

私印僞造

既報中木高一の私印私書僞造行使詐欺取財事件は本尾辯護士以て詐欺取財の點は全部證據不充分にて犯罪構成せず私印私書僞造罪も無罪なりと明白に辯論せしが一日詐欺取財の點は無罪となり私印私書僞造の點にて懲役六ケ月に處せらる

醜吏判決

民團醜吏末廣幸作外五名の横領犯控訴事件は昨一日第一審判決通りにして未決拘留日數九十日を刑期に算入す可き旨判決言渡ありたり

控訴棄却

元玉水樓主渡邊鐵眼の詐欺取財控訴事件は控訴棄却懲役一年に處せらる

仁川捕鼠買上

廿八日は二百五十二頭にして金七圓五十六錢なり

演藝だより

●壽座 好況なる立志團二日の藝題は血櫻茂兵衛全十場何重なる配役は血櫻茂兵衛（花島）業平文次（北村）和尚大五郎（青山）同兒分熊造（堤）岡九造（五味）若殿淸次（一二三）曙仙太（井上）桔梗家主人（村山）同小秀（郡）丹活熊雄（加藤）同妻た柳（淺井）同一子義夫（寶井）女中たね（花浦）高山利兵衛（五味）劍客師柳田梅雲（稻葉）留守番はま（藤島）

●歌舞伎座 人氣澤山なる男女合同劇二日の替狂言前『石井文學郎の達引』切『安達原三段目袖萩祭文』重なる配役は石井常右衛門、宗任 正三郎）奴定平（福司）母濱男（淺吉）太鼓持一八、奴市助、定任（尾之吉）市當左忠太（雀十郎）須原治右衛門、貫女（花笑）高尾太夫、袖萩（鶴二郎）

●京城座 大入續きなる兄弟團二日の藝題は雨後の月改題命躍の鑑書全十場にして割引券のれしあり配役は島者毛深一齋、岩村）藝者君江（花房）堀內照子、堀江 車夫能吉、書生石川（吉井）原口深齋（谷）小間使かつ（塚本）書生倉田文造（松澤）堀內龍之輔（岡田）齋（藤澤）書生遠藤進 小泉）旭家小千代（東）錄齋妻お金（江見）

●仁川歌舞伎座 浪花節芝居片岡鶴之助一座は相變らず東の寿駒觀音丹次にて同劇中一座極得意とする場所なれば一會大車輪を以て演すと

▲平民文壇▼

▲子供に强請れて二十六日の夜高等演藝館に行く同行八人、れ茶子に導かれて二階へ上るストーブが猛烈に燃れて居る外の寒いに似ず至極暖かだ華文明的の設備である▲全体此所は朝鮮人相手の娯樂場だ然るに此の防寒的設備がある然るに日本人相手の歌舞伎座にしろ壽座にしろ失れがないと云ふのは一種の恥辱ではあるまいか▲僕はツイ過日も歌舞伎座を見に行つたが寒いの寒いので堪らず中途に退場した而して斯う思つた京城では寒中は決して演劇なぞは觀に行くものではないと▲此れ等の各座主はストーブを焚くと火鉢が賣れんと云ふ考へだらうが失れは少々考へ違ひだ火鉢を賣らんが爲めに寒くして置けば火鉢を購ふべき客の入りが尠くなると云ふに想ひ到らぬのだ▲とすると勘定を知らぬ愚な考へだ今年はモウ仕方もなからうが來るべき冬からは其の設備をしたが宜しからう（への字）

▲京城でも近頃女學生の一部間に腰以上を絹物にて作り下部を木綿にした衣服が流行して居るさうだ勿論外出着は通學の際は袴で隱れる故アラは少しも見えませんと某女學生は語つた▲品行も之れに類して表面斗り繕らうから堪らない顋はハイカラ東髮、胴は絹物尻尾は木綿其ン鳴く聲アラヨクッテヨー（茂坊）▲茂坊君振つたね（小僧）▲過日の事僕が所用あつて旭町の住の家と云ふ宅の所を通つた、スルト其の前の家に貼札がしてあつた曰く『此の所通らん方は必せよ入の血を吸ふ鬼の住の家（通行人）▲去る夜南山町一丁目花の家の前を通行中横手よりほろ醉機嫌の優男が豚的美音を振り立てゝやつて來たが折柄の泥濘に足を取られてオヤと云ふ間もなくヅンテンドー▲片手に下駄を提げて立ち上つた泥鼠ヤア氣の毒などよく／＼見れば花家の野幇間一福ベツを搔き／＼引返す跡をソヨソヨと生暖い春の夜風が吹く（氣の毒みたい生）▲一寸申上候京城龍山元町三丁目の岸本の土方有之候も龍山に數多藤五郎さん程着實な親方は澤山ありません識は若いが誠の親分だ將來は定めて立派な大親分になるで有らう（仁川港畋心生）

けふの運勢

三月二日舊二月二日五黄辛●一白 未先負執△一白 新事旅行貸借金談婚姻凶惨義、騙られ損失煩累を作す勿れ△二黒 保證引受要求斥ぐべし總じて平和の日婚談及兒女の事、擧げ飼畜雇入れに吉△三碧 金品授受交涉談合故障起らんとす新事旅行婚談起業開店轉住見合せの事△四綠 談判相談婚談連盟遭合の事聞く負傷外務を戒しむ業務上進んで吉△五黄 總じて不如意とす賣買締約貸借 命談 尤も注意の事旅行新事見合すべし△六白 取引貸借事を用ゆべし他は總じて有望の日大抵吉△七赤 快歡の日大抵吉婚禮輿入れ入學門婚談起業開店に好良△八白 婚談履入れ共同の事に吉旅行新事見合せの事遺失防ぐべし△九紫 旅行轉住に忌む他は進んで吉負傷衛生注意すべし（本町五丁目三一館特談）

●天氣豫報（自一日午前六時 至二日午後六時）南西風雪後曇

제639호 1911. 3. 2.

●諸公債諸株券 現物賣買 迅速確實に御取扱可申候 兼業 洋服御小賣 官衙御用達 京城本町三丁目 大坂野村德七代理店 田中友吉商店 電話九三九



種苗木 農具農書盆栽 營業案内 無代贈呈 東京内藤新宿電車終點際 日本種苗株式會社

薄口醤油 や 特約販賣 仁川京城 高雄支店

梅毒根治の確効ある新薬六〇六號を左の規定に依り治療を施行す
一、治療せんとする者は先づ病毒の有無輕重を験診(ワッセルマン反應)し之に依て新薬を注射す
一、新薬注射後更に病毒有無の験診(ワッセルマン反應)を行ひ根治したるを確認して注射を終る
一、本治療は極めて秘密に行ふを以て希望者は本人若くは書狀を以て當院河野醫師に内報すること
(本町四丁目 電話二四番) 贅化病院

瓦斯コークス販賣 京城黄金町高等演藝館際 酒井組 電話二一四九番



二十世紀之新薬 最良新藥 每月丸 月經不順

▲月經をつうお●●● 子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物不消化、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす。
價 一日八錢半 週分廿五錢 一週間三週分壹圓四十錢
下に月經異動ある人持藥とせば病血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舗 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
東京日本橋區室町 丹平商會支店
▲賣捌は東京市内其他各店に取次す

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四 振替口座京城一〇六八 十六番

世帶道具は何でも有り升
外に宅ノ酩酒手ヨリ白米和洋ローソク上白シメ油(高)醤油ハ特約品
右品質上等直段下等大勉强販賣仕候間續々御用命奉願上候
日用雜貨卸問屋 京城本町六丁目 西崎嘉七本店 (電話二百十番 又二 振替貯金口座朝鮮七番)

隔春の砌り各位益々御清福奉賀候弊館儀是れ迄主任技師歸國不在中にて調製日數も延引致し諸事手落の處有之候處今般東都より女寫眞師川崎初子女を招き專ら技術を現し美術的寫眞を三月一日より普通寫眞は半額大判並に引伸し(プラチナ、ツヤケシ)は三割引にて調製仕り候間陸續御來車御引立の程奉願上候

仁川濱町二丁目 八坂寫眞館
私儀今般當八坂寫眞館よりの招きにより着任仕候間何卒御引立下され度此段御挨拶申上候
寫眞師 川崎初子

本品は貧血症、肺病及之れに類似の疾病、消耗性神經衰弱症、病後の回復期等に卓効あるものなり下痢を止め特効を有す
大瓶三圓 四十錢 小瓶一圓 送料八錢
▲委細は説明書無代贈呈

ボビナイン飲むだけ血になるボビナイン

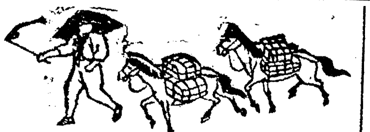
横濱市境町 合資會社友田商店 振替口座東京一九三八番
朝鮮代理店 京城本町郵便局前 山岸天佑堂 振替口座朝鮮二〇三番 電話三七二番

一日にして効能は現る



本價 三日分 七十五錢 十四日分 四十錢
緒方高橋病院長有効證明
本舗 日本大阪 高橋盛大堂
代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂 同南大門三丁目 新井藥房
到る所の藥店に販賣す

義歯術全般
京城南山町二丁目(伊藤組前に入る) 小倉三郎 電話



池田商會製菓品 ライト、ムンライト、サンライス、朝鮮飴其他韓みやげ品各種 石鍋、石器類、食料品、雜貨 京城南大門前 池田商會 電話七五九番 振替口座京城二四七番

田舍行駄馬運搬所 朝鮮人向物品委托問屋 京城東大門通 池田商會出張所 電話千五十番

ライオンは、今や將に何物にか跳り蒐らうとしてゐる。
敵は何處?
そして何物?

ライオンはみがき



諸君の歯牙を傷める物が諸君の口中に盛にゐる。
ライオン歯磨は諸君の爲に、此敵を鏖殺するのである。

發賣元 東京 大阪 名古屋 小林富次郎

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 京城本町三丁目 森久商店

健胃固腸丸 くだり病一切の特効藥
●主治 ●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効速なり
●常に肝へ置き朝夕五粒づゝ服用せば腸胃の衰弱を治し食物の消化を能くす
藥價 貳十粒入 五錢 四十五粒入 拾錢 百粒入 貳十錢 三百粒入 五十錢 七百粒入 壹圓
本劑ハ全國到る所の賣藥店に取次販賣せり
御求の節商標と谷回春堂に御注意を
大阪市東區伏見町堺筋角 本舗 谷回春堂 (電話東四五八番 振替貯金番號八三〇)
京城南大門通 新井藥房 (電話一〇六八番九〇四 振替口座十六番)

●エールリッヒ氏新梅毒注射藥到着致候御希望ノ者ハ御來院アレ
●內科小兒科 外科花柳病
●入院隨意
京城旭町三丁目 十全病院 電話七三七番

土地建物鑛山株券賣買
小林藤商店
貸家管理の囑托を受く
一百町餘の果樹園適地買入たし
田、畓、山、金銀、黑鉛鑛買たし
商品其他擔保に貸金す
市外田畓山林未墾地鑛山賣物あり
市內家宅賣物數多あり
京城明治町三丁目 電話六五五番

印刷と紙
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用 播本商店
京城本町六丁目 電話百拾番

家傳 名灸(とや)
●うちみ くじき はねつき 特に胃腸病 かつけ 專門
毎日午後二時迄點灸す
明治町一丁目百十番戶 荒川マッサージ院

資本金五百萬圓 神戶海上運送火災保險株式會社 出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

朝鮮名産 鶴乃箸
〇鶴の骨細工種々 〇鶴の羽細工種々 〇朝鮮土産品種々
製造發賣元 京城本町三丁目 海市商會 (電話二五〇 振替朝鮮四八)
特約發賣元 京城本町四丁目 日之出商行 (電話九五六)
特約發賣元 京城本町六丁目 西崎本店 (電話二一〇)

鍼灸治療 脚氣、リウマチス、腸胃加答兒、腦病神經痛、小兒寢小便、其他諸病一切 御報次第參上治療可仕候 京城曙町(取次電話一一八七) 石川源太郎

エールリッヒ、秦兩氏發見 梅毒新藥(六〇六號) 注射治療の需に應ず
花柳病痔疾專門 京城梅毒病院 京城相生町南門通(電話一二九四)
院長 醫學得業士 直田耕平